

ASIAN CURVING



アジアの ASIAN 彫刻展

CURVING

10月06日(日)

11月10日(日)

11月30日(土)

合同ワークショップスケジュール

会場 みやぎ蔵王こけし館

受付 10:00 ~ 15:00(最終受付)

※お子様連れ 参加可能

-内容は都合により変更となる場合があります-

STATEMENT

「彫刻 (=Carving)」は人類の美術・芸術において最も歴史が古く、およそ 5,000 年前の古代エジプトのピラミッドの時代まで遡ります。古代エジプトで生まれた石工の技術は、海を渡り古代ギリシャで進化し、かの有名な「ミロのヴィーナス」が生まれました。

現在のパキスタン～アフガニスタンにかけて、紀元前 6～11 世紀頃にガンダーラと言う古代インドの国がありました。ここにギリシャのアレクサンドロス大王が侵攻したことから、ギリシャ文化の流入が始まり仏像が誕生したのです。アジア圏における彫刻文化のオリジンとなります。それまで宗教は存在していても偶像を作る文化が無かった国々地域へ広まり、さまざまな信仰の中で多様な技術が育まれました。蔵王一刀彫の原点は奈良一刀彫り。言わずと知れた、日本における仏像彫刻のパイオニアです。一方、笹野一刀彫は仏教信仰が隆盛を極めた奈良～平安初期頃、蝦夷討伐で名を馳せた坂上田村麻呂が戦勝祈願に奉納した削り花が起源と言われており、いずれの彫刻の歴史を見ても、日本においては仏教信仰と共に彫刻は育まれて来ました。

一方で、インドネシアにおいては同じ島国とは言え、大小さまざまな島が沢山あり、その島ごとに多様な文化が生まれ、それぞれの生きる知恵の一つとして彫刻が育まれて来ました。是非、その違いやバックボーンも楽しみながらご鑑賞頂ければ幸いです。

●笹野一刀彫作品・・・おたか三兄弟 (小山 泰弘、佐藤 和憲・和寛)【山形県 米沢市】

1982・83 年山形県米沢市生まれ。

山形県米沢市南部の笹野地区におよそ 1200 年前から伝わるといわれる『笹野一刀彫』を、高橋清雄 工人に師事した保育園からの幼馴染三人。和憲・和寛は双子の兄弟。米沢を代表する伝統工芸品の後継者不足に危機感を抱き、2014 年より笹野一刀彫を始める。

『サルキリ』と呼ばれる独特の刃物一刀で彫り上げていくのが特徴で、鷹を表現した「おたかぼっぼ」が代表作であり三人の名前の由来にもなっている。



●蔵王一刀彫作品・・・石橋康宏【宮城県 蔵王町】

1982 年奈良県生まれ。

奈良に約 900 年前から伝わる『奈良一刀彫』を五代目・神箸東林氏に師事し、その後結婚を機に、蔵王で独立。東北には無い新たな工芸として『蔵王一刀彫』を始める。『奈良一刀彫』の技法である一刀一刃鑿(のみ)跡を残し、昔から伝わる日本画の技法(岩絵の具・水干絵の具・金箔)を使った彩色を施すのが特徴。



●インドネシア彫刻作品・・・Guntor Halimar Permana【インドネシア】

1989 年インドネシア生まれ。

インドネシアにおいてカービング(彫刻)は生活の一部であり、また生まれた地で大きな工房もあったため 12 歳の時から彫刻を始め、ギターやジェンベなどの楽器への彫刻を始めさまざまな作品を作り続ける。信仰の象徴として生まれた日本の彫刻に対し、インドネシアにおいてはリアリズムを旨とする。

自然の情景や心の動き、それらをカービングとして表現している。



2019 AUTUMN EXHIBITION

9.25 (Wed) - 11.30 (Sat) 9:00 - 17:00

みやぎ蔵王こけし館

こけしに出会うと、何故か心が和む。



Open 9:00 - Close 17:00

最終入館時間 Last admission - 16:30

